



2014

Interim Report

平成26年4月1日 — 平成26年9月30日

第62期 中間報告書

GEO▲▲ATEC



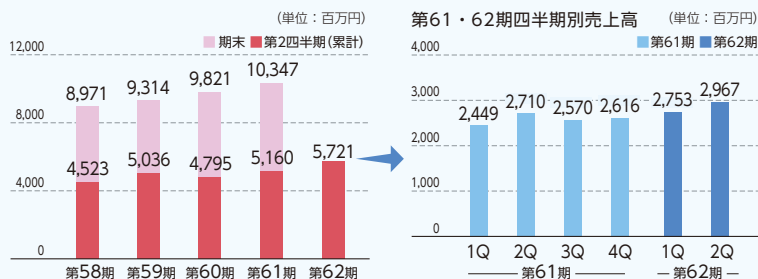
# Financial Highlights

## 第2四半期決算ハイライト

### 売上高

5,721 百万円

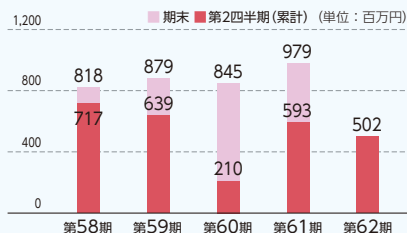
積極的な設備投資による受注数量増加や基板材料を当社で調達する製品及び外注加工を必要とする製品の販売額が増加したことにより、売上高は57億21百万円(前年同期比10.9%増)となりました。



### 四半期純利益

502 百万円

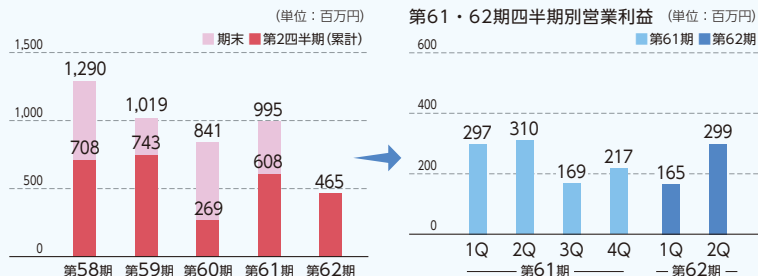
四半期純利益は営業外収益の改善などにより営業利益に比べて減少率は低くなりました。この結果、5億2百万円(前年同期比15.3%減)となりました。



### 営業利益

465 百万円

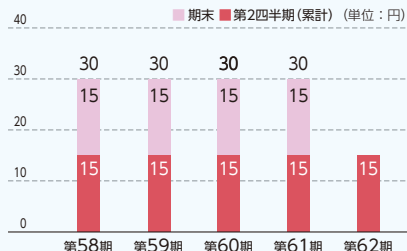
主力製品である液晶パネル用帯電防止膜、タッチパネル用透明導電膜生産用に最新設備を導入し、生産効率の向上を図るとともに、受注数量の増加に努めてまいりました。しかし、中国子会社が前年同期と比較して大幅な減益となったことから、営業利益は4億65百万円(前年同期比23.4%減)となりました。



### 中間配当金

15 円

株主各位への利益還元を充実させていくことを経営の基本方針としております。この考えのもと、業績を考慮しつつ安定的な配当を実施してまいりますとともに、将来の事業展開と経営環境の変化に備えた経営基盤の強化に必要な内部留保を確保してまいります。





# To Our Shareholders

株主の皆様へ



代表取締役社長 松崎建太郎

代表取締役会長 松崎隆造

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第62期中間報告書をお届けするにあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和政策を背景に緩やかな景気回復の動きはみられたものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が長期化していることや、円安による輸入物価の上昇など、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループの主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ（FPD）市場は、その最終製品であるスマートフォン、タブレット端末の好調を背景に全体として堅調に推移しております。ただし、最終製品市場の伸びの要因は低価格製品の台頭によるものことから、スマートフォン、タブレット端末メーカーの勢力図に変化が見られ、中小型FPD市場にも影響を及ぼす結果となっております。

この結果、売上高は、57億21百万円（前年同期比10.9%増）となりました。なお、売上高増加の主な要因は、基板材料を当社で調達する製品及び外注加工を必要とす

る製品の販売額が増加したためであり、当該要因を除いた当社グループの実質的な加工賃収入は前年同期比3.4%の増加にとどまっております。損益につきましては、中国子会社が前年同期と比較して大幅な減益となったことから、営業利益は4億65百万円（前年同期比23.4%減）、経常利益は5億22百万円（前年同期比15.7%減）、四半期純利益は5億2百万円（前年同期比15.3%減）となりました。

また、品目別の状況は、次の通りであります。

## ■ FPD用基板

FPD用基板につきましては、前述のとおり中小型FPD市場の環境変化が当社の受注環境にも大きな影響を及ぼしました。液晶パネル用帯電防止膜は、価格下落の影響は大きかったものの、スマートフォン、タブレット端末向けに、期後半にかけ受注は大幅に増加いたしました。抵抗式タッチパネル用透明導電膜は、カーナビゲーション向けに安定した受注が継続したことから、概ね堅調に推移いたしました。静電容量タッチパネル用透明導電膜は、スマートフォン向け受注は減少しましたが、ポータブルゲーム機向け受注は増加いたしました。

この結果、売上高は44億32百万円（前年同期比16.3%増）となりました。なお、実質的な加工賃収入の比較では、前年同期比6.5%の増加となっております。

## ■ 光学機器用部品

光学機器用部品につきましては、プロジェクター向け光学部品やデジタルカメラ向け反射防止膜の需要が縮小し、低調な推移となりました。

この結果、売上高は4億54百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

## ■ その他

その他につきましては、スマートフォン向け加飾膜やマスクブランクス向け薄膜などとともに、その他薄膜製品の販売活動に取り組みましたが、スマートフォン向け加飾膜の需要が縮小したことから低調な推移となりました。

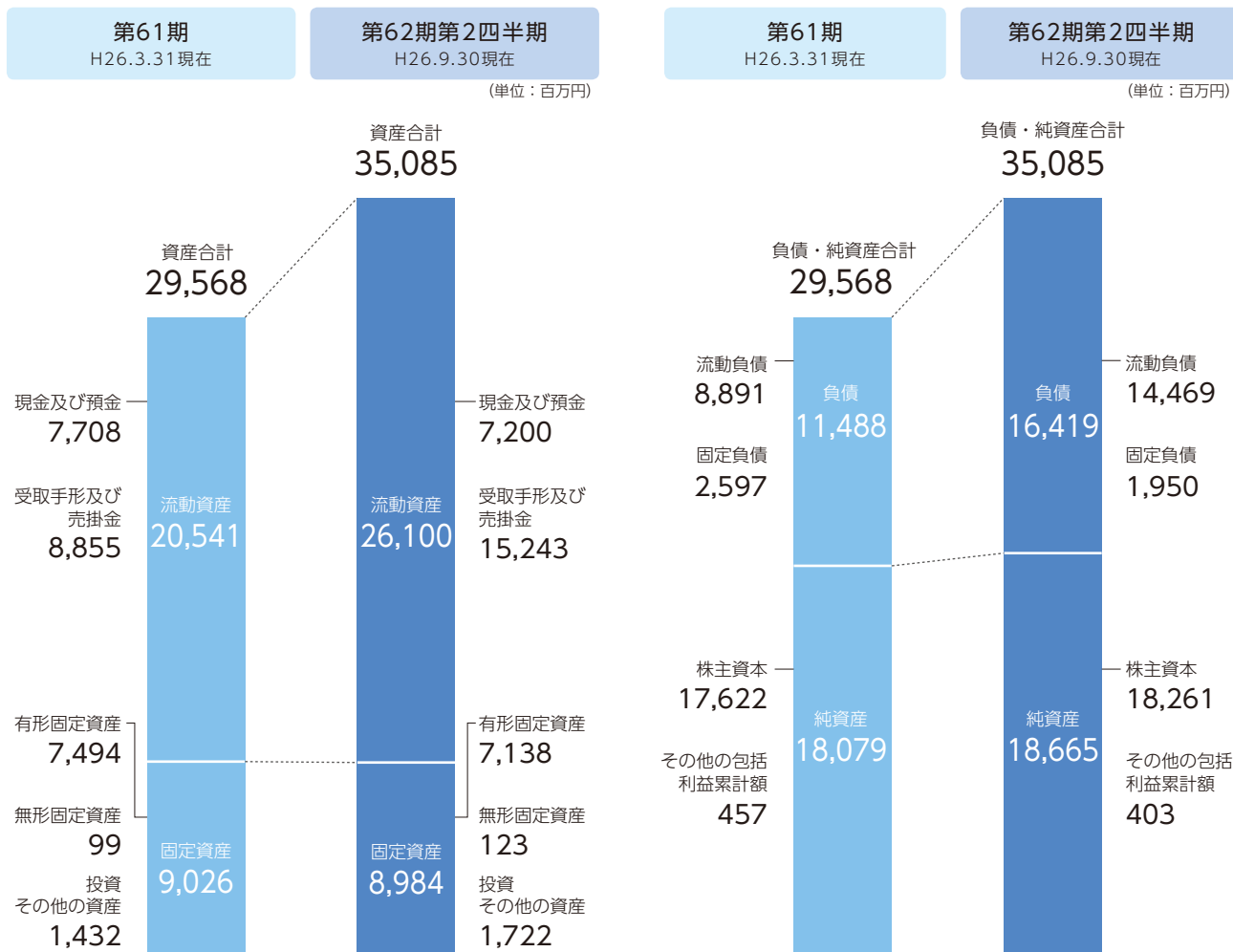
この結果、売上高は8億33百万円（前年同期比6.0%減）となりました。



# Financial Data

財務データ

## 連結貸借対照表



## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第61期第2四半期(累計) H25.4.1~H25.9.30	第62期第2四半期(累計) H26.4.1~H26.9.30
売上高	5,160	5,721
売上原価	3,613	4,297
販売費及び一般管理費	938	958
営業利益	608	465
営業外収益	44	70
営業外費用	32	13
経常利益	620	522
特別利益	0	6
特別損失	-	0
税金等調整前四半期純利益	620	528
法人税、住民税及び事業税	26	26
法人税等調整額	0	0
四半期純利益	593	502

## 連結キャッシュ・フロー計算書

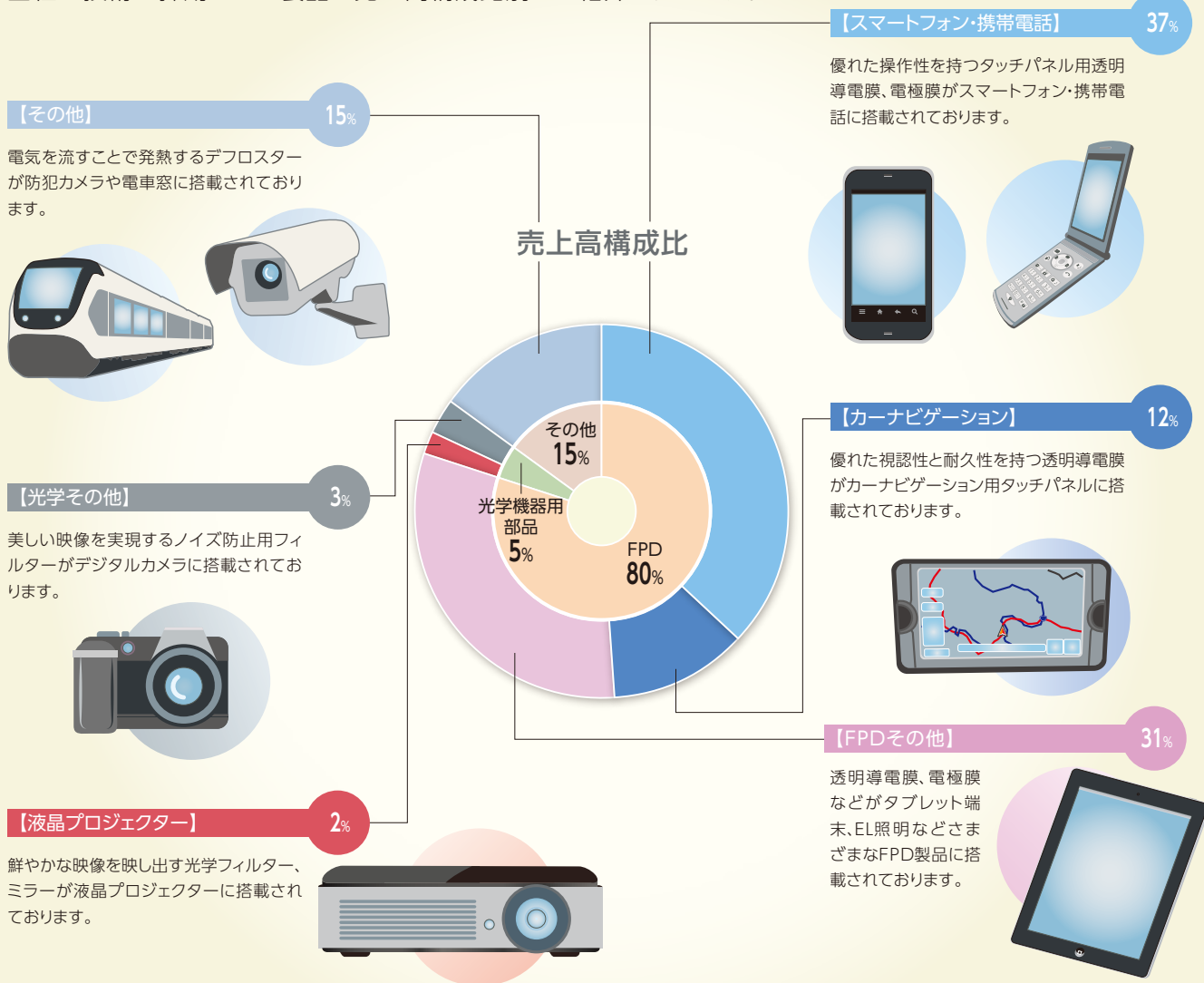
(単位:百万円)

科目	第61期第2四半期(累計) H25.4.1~H25.9.30	第62期第2四半期(累計) H26.4.1~H26.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,113	503
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 397	△ 669
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,105	△ 608
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	△ 33
現金及び現金同等物の増減額	△ 345	△ 807
現金及び現金同等物の期首残高	8,735	9,660
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,389	8,853



## 当社薄膜技術の活躍

幅広い分野で活躍しているジオマテックの最先端薄膜技術。  
当社の技術が採用される製品を売上高構成比別にご紹介いたします。





# Stock Information

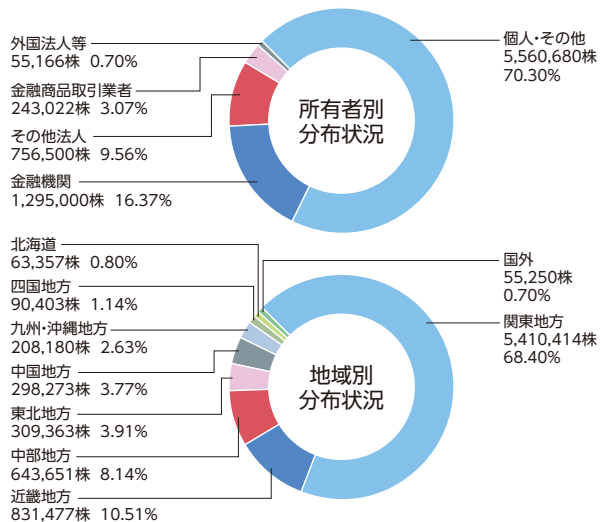
株式の状況 (H26.9.30現在)

発行可能株式総数 ..... 21,600,000 株  
 発行済株式総数 ..... 9,152,400 株  
 株主総数 ..... 5,378 名  
 (前期末比182名減)

## 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
松崎隆造	1,053,800	13.32
松崎建太郎	424,700	5.37
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	394,800	4.99
有限会社松崎興産	336,000	4.25
株式会社三菱東京UFJ銀行	303,800	3.84
ジオマテック従業員持株会	194,480	2.46
明治安田生命保険相互会社	154,000	1.95
個人株主	107,100	1.35
第一生命保険株式会社	105,000	1.33
株式会社アイ・アンド・イー	80,400	1.02

※自己名義株式は除いております。



※自己名義株式は除いております。



# Corporate Data

会社概要 (H26.9.30現在)

商 号 ジオマテック株式会社  
 GEOMATEC CO., LTD.  
 設 立 昭和28年9月  
 資 本 金 40億4,385万円  
 従 業 員 数 672名(連結) 459名(単体)  
 本 社 所 在 地 〒220-8109 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号  
 TEL. 045-222-5720 FAX. 045-222-5735  
 E-mail: geomatec@geomatec.co.jp  
 事 業 内 容 フラットパネルディスプレイ用基板(液晶ディスプレイ用  
 基板、EL用基板、タッチパネル用基板)、光学機器用部品、  
 固体レーザー用光学系部品、その他真空成膜製品の製  
 造及び販売他  
 主 な 販 売 先 シチズン電子(株)、シャープ(株)、  
 (株)ジャパンディスプレイ、日東電工(株)  
 パナソニック液晶ディスプレイ(株)、HOYA(株) など  
 (五十音順)

## 取締役、監査役及び執行役員 (H26.9.30現在)

代表取締役会長	松	崎	隆	造
代表取締役社長	松	崎	建	太
取締役常務執行役員	鈴	木	忠	春
取締役執行役員	高	橋	幸	吉
取 締 役	澤	口		学
常 勤 監 査 役	熱	海	敏	幸
監 査 役	寺	西	尚	人
監 査 役	堀	江	正	機
執 行 役 員	菅	原	浩	幸
執 行 役 員	河	野		淳
執 行 役 員	菅	原	英	喜
執 行 役 員	武	田		明
執 行 役 員	松	本	作	太

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

剰余金の配当基準日 3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)

単元株式数 100株

公告方法 電子公告(<http://www.geomatec.co.jp/>)  
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の 店舗)でもお取扱いたします。  みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 *トラストラウンジではお取扱できません のでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、 右の「特別口座の場合」の郵 便物送付先・電話お問い合 わせ先・各種手続お取扱店 をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買 取・買増以外の株式売買はできませ ん。証券会社等に口座を開設し、株 式の振替手続を行っていただく必要 があります。

## ジオマテック株式会社

GEOMATEC CO., LTD.

本社 〒220-8109 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号  
TEL.045-222-5720 FAX.045-222-5735



PROJECT-  
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO<sub>2</sub>は  
PROJECT- With the Earth を  
通じてオフセット(相殺)しています。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。